

令和2年度 事業者向け 児童発達支援事業自己評価表

| | | チェック項目 | 改善目標、工夫している点など |
|---------|---|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 大部屋と小部屋を活動内容や時間、メンバーで使い分けている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 国・都の基準以上の人員を配置している。1：1支援で十分な配置ができている一方、非常勤職員の出勤状況で受け入れ可能な児童の数に変動がある。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 車いすが通りやすいようにしている。 エレベーター設置している。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 日々の記録とミーティング、月ごとの職員会議を活用して共有している |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | アンケートの他には、日々の送り迎え時の会話やモニタリング面談にて意向を伺えるようにしている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ホームページで閲覧できるようにしている。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 実施している。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 事業所内では職員会議とケア会議を毎月実施している。来年度より拠点ごとに研修を実施予定。 |
| 適切 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか | 個別支援計画・アセスメントシート等を作成、個々のニーズや発達年齢に合わせた支援と年齢相応の経験なども取り組んでいる。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 使用している。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 個別またはチームで行い、記録を確認して、次回の利用に反映している。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 個々の課題にあわせて毎回プログラムを設定している。 |

| | | | |
|--|---|--|--|
| な 支 援 の 提 供 | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 休日は営業していない。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか | 利用者の状況に合わせて計画を立てている。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 活動・支援内容や役割分担を決め、支援開始前に確認している。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 日報、記録をもとに支援者と管理者が情報を共有している。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 日々の記録をもとに次回の利用に向けて支援の検証・改善を行っている。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか | モニタリングを行い、利用者の状況に合わせて見直しを行っている。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 行っている。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 基本的には管理者が参加している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 送迎時の情報共有や保護者を通しての情報共有に加え、必要に応じて相談支援員も含め、カンファレンス等を行っている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 事業所の嘱託医とは連絡が取れる体制を取っている。主治医とは今後は看護師指示書を通して指示をいただく。三号研修を実施する場合は、喀痰吸引指示書をもらっている。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 利用している保護者を通じて情報をもらっている。 |

| | | | |
|-------------|----|---|---|
| こどもや保護者との連携 | ②6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | |
| | ②7 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 参加している。 |
| | ②8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 送迎時の情報共有のほかに、電話を活用している。必要時、面談を実施している。 |
| | ②9 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 今はほとんど行っていない。 |
| 保護者への説明責任等 | ③0 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 見学時や契約時に丁寧に説明するようにしている。 |
| | ③1 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | いただいた相談に乗りながら、助言等支援を行っている。 |
| | ③2 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 季節に応じたイベントなどで交流する機会を設けている。 |
| | ③3 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | いただいたご意見を早期に対応できるよう迅速に情報共有し、対応できるようにしている。 |
| | ③4 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | エリア内で毎月お便りを発行している。 |
| | ③5 | 個人情報に十分注意しているか | 注意している。 |
| | ③6 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 配慮している。 |
| | ③7 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 地域の町内会主催の行事に参加している。 |
| | ③8 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 各マニュアルは職員に周知しているが、保護者に全てのマニュアルを周知できていないので、伝えられるようにしていく。 |

| | | | |
|---------|----|---|--|
| 非常時等の対応 | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | マニュアルは作成しているが避難訓練などの実施は出来ていない |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 職員への周知と積極的な研修の参加を促していく。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか | している。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 必要に応じて個別に対応している。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 日々のミーティングで共有している。話し合いが必要な事例については、別に会議の時間を取って再発防止策を考えている。 |